

検討課題 1 地域活動への参加について

地域活動への参加を問う質問では、「特に参加していない」と回答した人が半数を超える結果となった。

また、今後参加したい地域活動については、「文化・教養・趣味等のサークル活動」や「市民講座・教養講座などの講座受講」といった内容に興味を示している人の割合が高い。一方、「特に参加するつもりはない」と回答した人も多い。

《参照⇒アンケート結果（抜粋）P1①・②》

今後の課題として、地域活動への参加をどのように増やしていくのかについて検討していく必要がある。まずは、興味を示している内容から取組に移していくことも検討していく必要がある。

検討課題 2 支え合いの状況について

近所とのつきあいの程度については、「顔をあわせればあいさつする」という回答が最も多くなっている。また、わずかではあるが「ほとんど顔も知らない」「顔を知っているが声をかけたこともない」という回答もある。

地域の中での手伝いの経験については、「特に何もしていない」という回答が非常に多い状況にある。また、その理由としては、「手伝いを必要とする人が身近にいない、必要とされたことがないから」という回答が最も多くなっている。困りごとなどがあつたときの家族以外の相談先としては、「普段から付き合いのある親戚・知人」という回答が最も多くなっている。また、相談をした内容、相談を受けた内容ともに、「子育てに関すること」や「健康に関すること」が多くなっている。

《参照⇒アンケート結果（抜粋）P2③～P4⑧》

今後は、近所付き合いをある程度密に行えるような地域づくりを心がけ、手伝いを必要とする人がいたときに、誰もが簡単なことから、できることからはじめられるような地域づくりについて検討していく必要がある。また、身近に、日常的な悩みを共有し相談することのできるような関係づくりを検討していく必要がある。

検討課題3 ボランティア活動への参加状況と意識について

ボランティア活動への参加状況については、「活動に参加したことがない」という回答が約8割となっている。また、参加しているボランティア活動の内容としては、「高齢者に対する援助」「スポーツ、文化、レクリエーションに関する活動」への回答が多かった。また、これからさらに必要とされる、専門的な人材養成（ホームヘルパー、手話通訳者）に関しては、希望意向が少ない状況にある。

《参照⇒アンケート結果（抜粋）P5⑨～P6⑫》

今後は、少しでも多くの方にボランティア活動に興味をもってもらい、参加が促進されるよう検討していく必要がある。特に、ボランティア活動に関する研修会や講習会には参加意向が高いことや、「自然や環境保護に関する活動」「スポーツ・文化・レクリエーション」「高齢者に対する援助」への活動分野に関心が高いこと等、興味・関心を持ってもらいやすい分野からのアプローチを検討していく必要がある。

また、身近な地域で活動する「地域ボランティア」の育成についても、検討していく必要がある。

検討課題4 地域福祉の充実について

地域福祉に望むことについては、「老後も安心して生活できること」への回答が最も多くなっている。また、地域で支え合っていくうえで必要なことについては、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」「ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動」が多くなっている。さらに、地域における助け合いを活発にするために重要なことについては、「学校教育等での福祉教育を充実する」「福祉に関する情報を得やすくする」「活動の拠点となる場を整備する」が多くなっている。

《参照⇒アンケート結果（抜粋）P7⑬～P8⑮》

今後は、高齢社会が本格化していく中で、老後に関する関心事項が高くなっていることから、地域における高齢者ケアシステムの構築は検討が急がれる課題である。また、今後の地域社会の担い手を育成していくためにも、福祉教育の充実や、幅広い情報の提供を検討していくことが必要である。

また、地域福祉の主体ともなる地区社協について、特に未設置地区に関しては、社協との連携により、その設置が急がれるところである。

検討課題5 福祉サービスの利用について

認知状況が低いサービスについては、高齢者分野では「緊急通報サービス」「紙おむつ支給サービス」、子育て分野では「びよびよ広場」、障害者分野では「手話通訳者の派遣」となっている。

《参照⇒アンケート結果（抜粋）P9⑩～P10⑮》

今後は、上記のサービスにおけるインフォメーションを特に検討し、住民が主体的にサービスを選択、利用できるよう、より一層の工夫をしていく必要がある。また、それぞれの個別3計画において十分に対応を検討していく必要がある。

検討課題6 地域福祉施策の取り組みについて

地域福祉を推進するために、石狩市総合福祉計画（地域福祉計画）に基づき、さまざまな施策が推進されている。特に、ボランティア等への活動の支援に関する施策に関しては、「民生・児童委員の活動支援」「ボランティアセンターの体制の充実」「手話通訳講座開催の推進」「ボランティアコーディネーター等の養成支援」等、その達成度が大変高い状況になっている。

《参照》 主要施策の達成状況（総合福祉計画 H10・3）

	施策内容	着手・達成状況	達成見通し（H16まで）
ボランティア等への活動の支援	ア. 民生・児童委員の活動支援	◎	—
	イ. ボランティアセンターの体制の充実	◎	—
	ウ. ボランティアのための研修・講座等の充実	○	○
	エ. 手話通訳講座開催の推進	◎	—
	オ. ボランティアコーディネーター等の養成支援	◎	—
	カ. ボランティア団体の活動支援	○	△

※着手・達成状況 ◎：既に達成・完了 ○：着手済み ×：未着手

※達成見通し ○：達成予定 △：未達成 —：達成・完了

今後の課題としては、地域福祉の視点でもある、在宅生活を支えるサービス提供体制を充実させていくと共に、地域活動を推進するための施策を充実させる必要がある。また、住民参加型在宅福祉サービス提供組織を育成していくことも必要であり、その発展として、NPO等の育成施策にも力を入れていく必要がある。

以上1～6の検討課題を整理すると、本計画における重点課題が浮かび上がってくる。



- | | |
|--------|-----------------------|
| 重点課題 1 | 地域における支えあい活動の創出と人材育成 |
| 重点課題 2 | 総合的な保健福祉サービス推進 |
| 重点課題 3 | 行政と住民によるパートナーシップ社会の形成 |

重点課題（基本目標）と考えられる計画の体系

重点課題 1 地域における支えあい活動の創出と人材育成

検討施策内容

- ・ 地域活動のための拠点整備
- ・ 地域福祉を推進する人材の育成
- ・ 地域福祉ナレッジバンク構想
- ・ 地域における住民の福祉活動への支援

重点課題 2 総合的な保健福祉サービス推進

検討施策内容

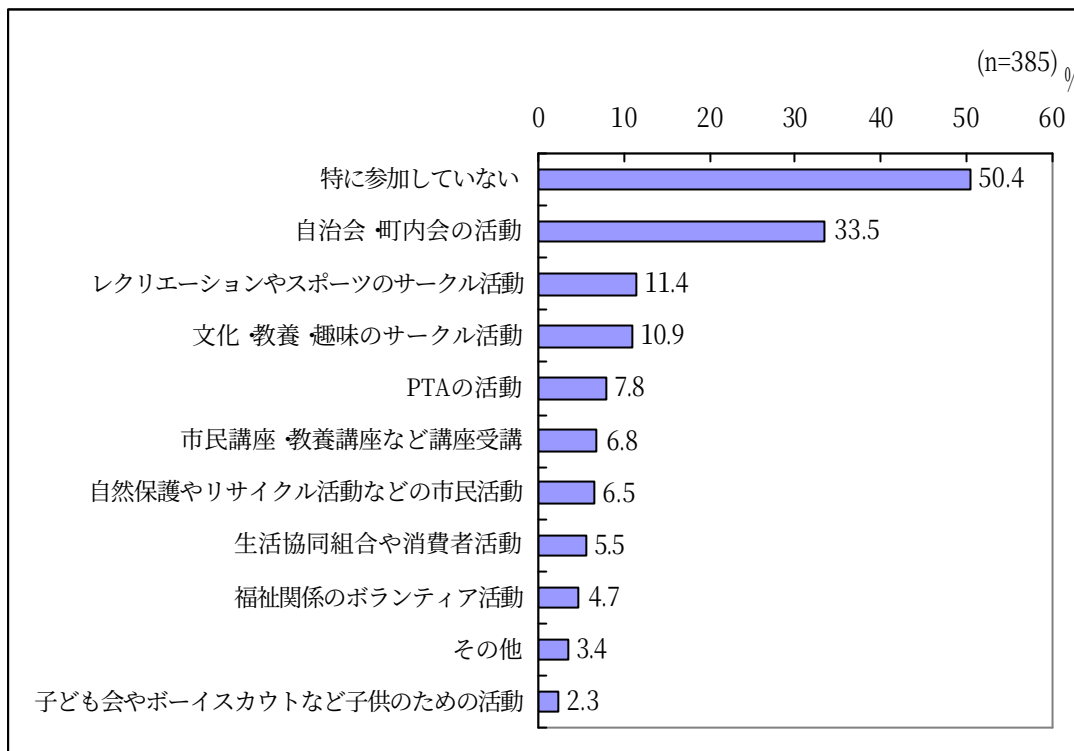
- ・ 保健・医療・福祉など関係機関の連携の推進
- ・ 民間事業者への支援とコーディネート機能の充実
- ・ 総合的な相談体制の構築
- ・ 情報提供体制の整備
- ・ 健康・生きがいづくりの推進
- ・ サービス利用者の権利擁護

重点課題 3 行政と住民によるパートナーシップ社会の形成

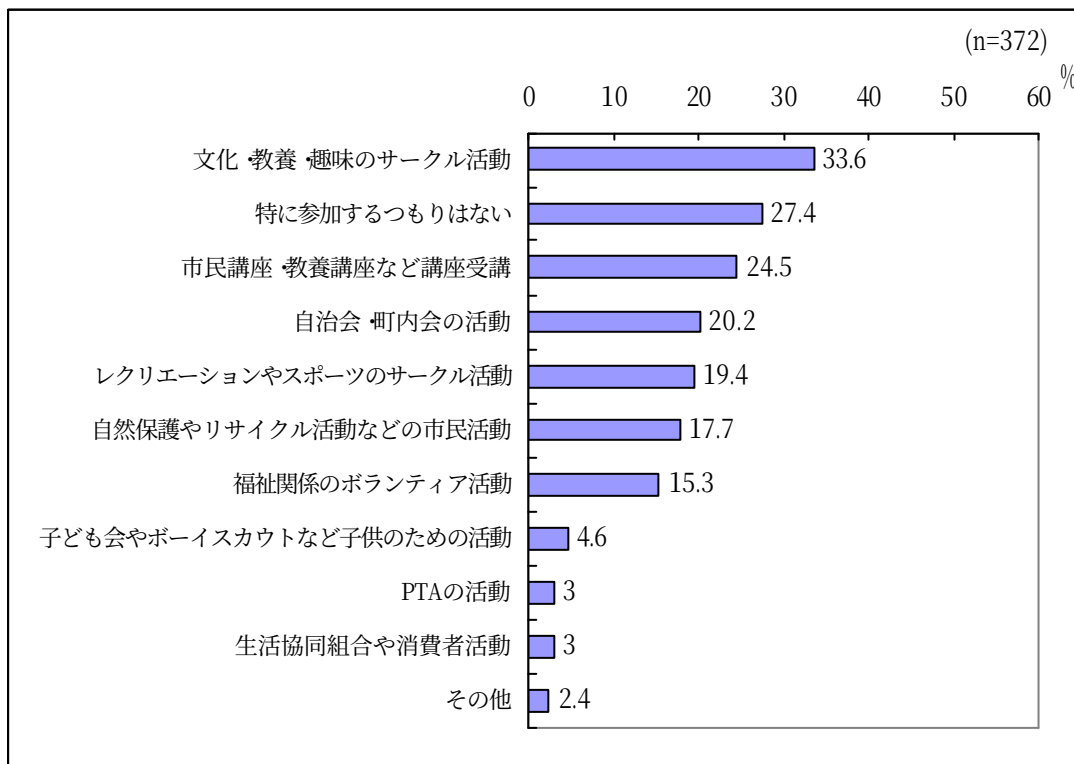
検討施策内容

- ・ 石狩市地域福祉ケアシステムの構築
- ・ 住民主体による計画推進管理体制の構築
- ・ 社会福祉協議会との連携体制の推進
- ・ 行政とのパートナーシップによる地域づくり

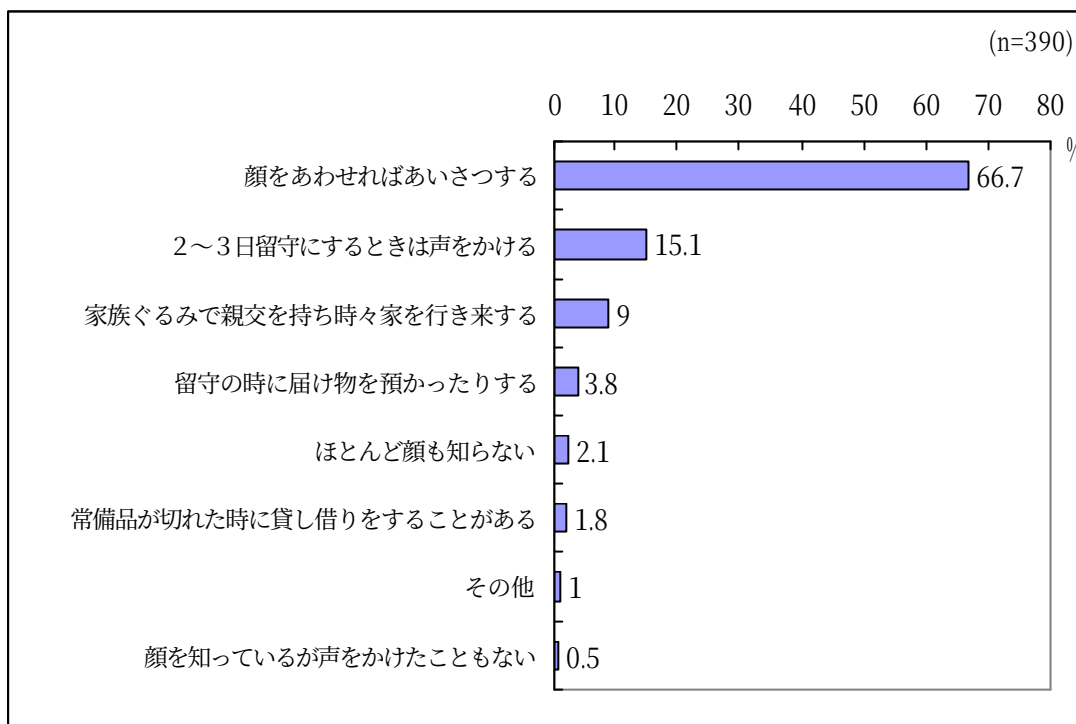
①地域活動への参加状況（複数回答可）



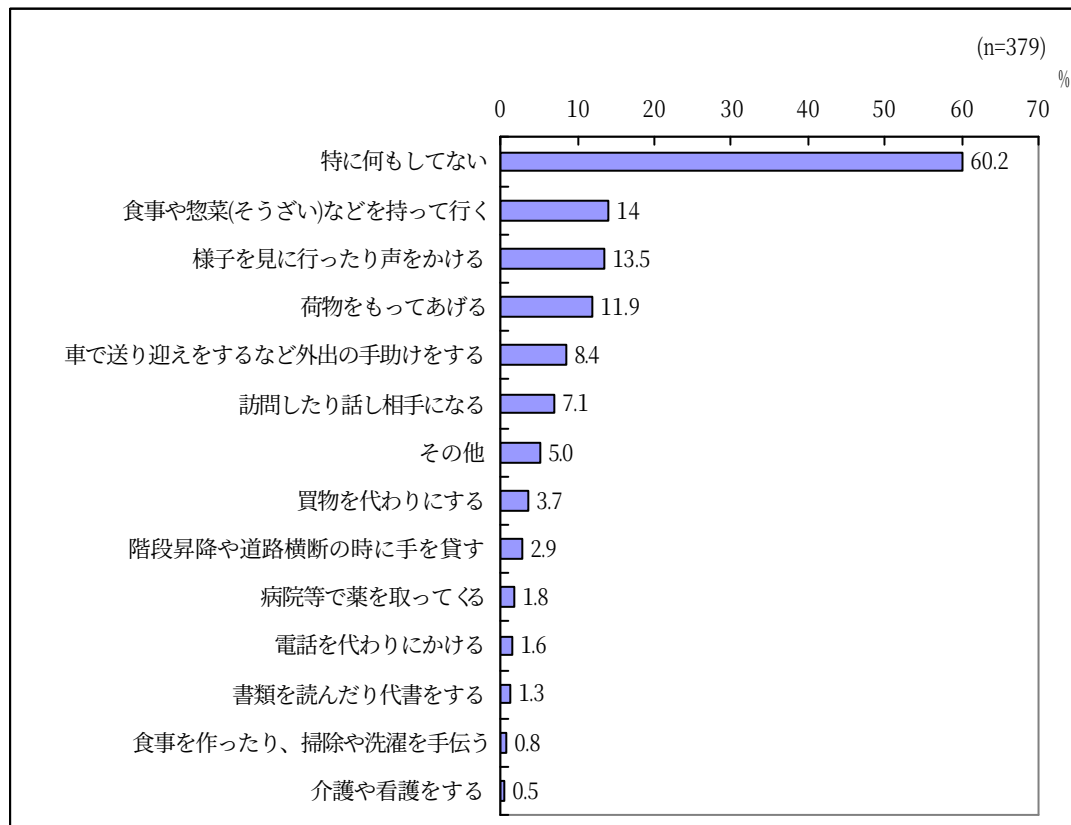
②今後参加したい地域活動（複数回答可）



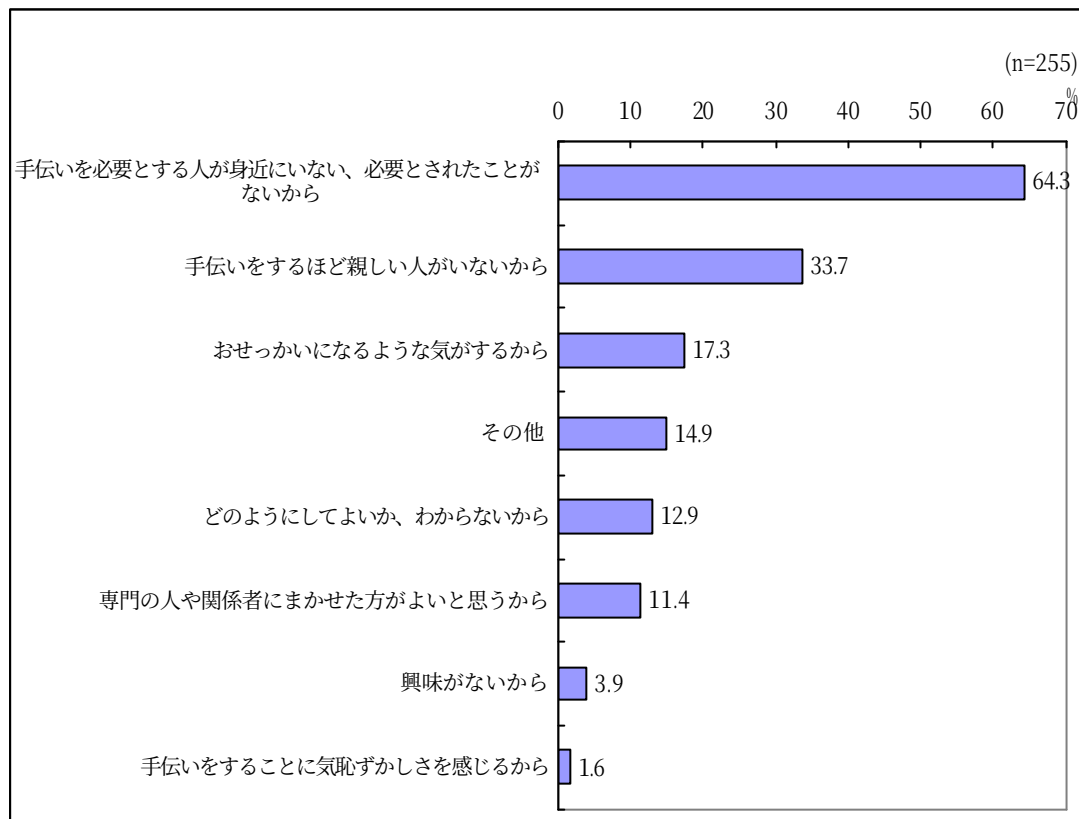
③近所の人とのつきあいの程度について（単数回答）



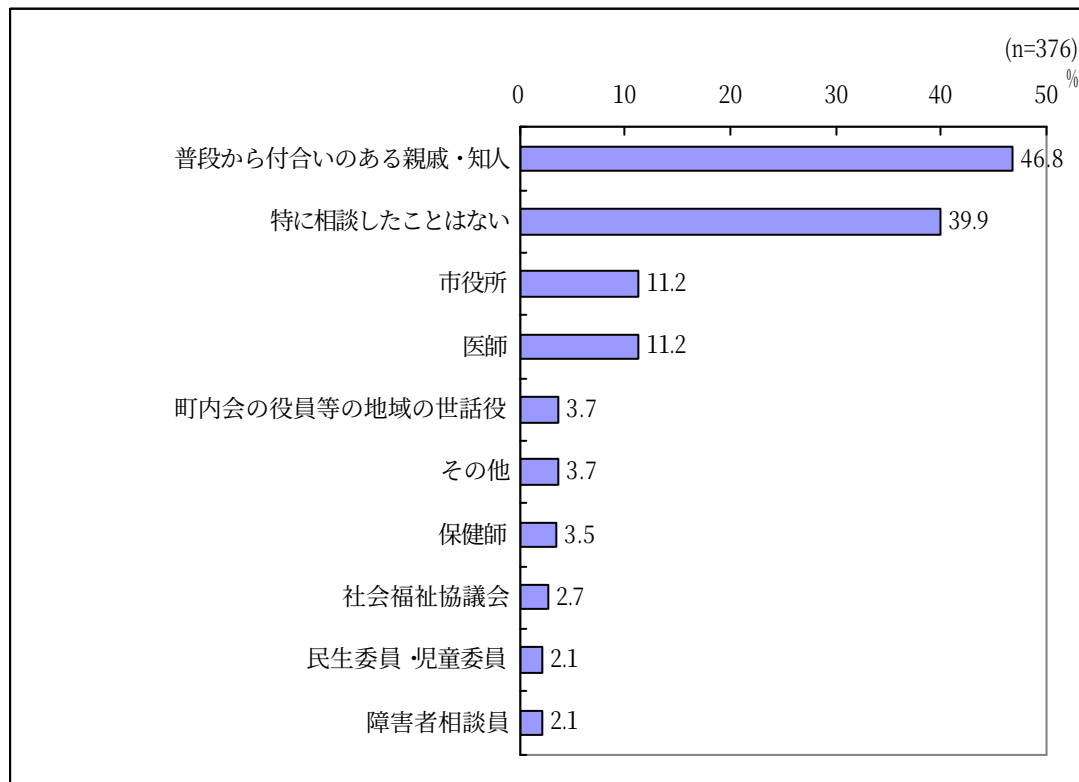
④地域の中での手伝いの経験について（複数回答可）



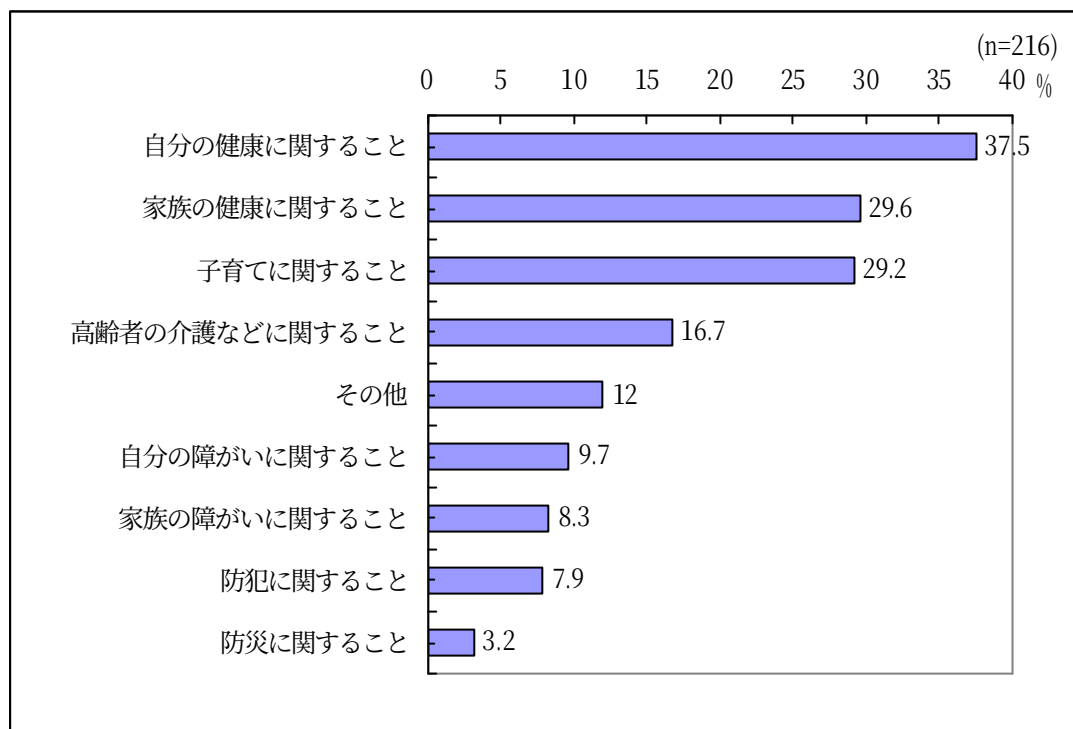
⑤地域の中でお手伝いをしない理由について（複数回答可）



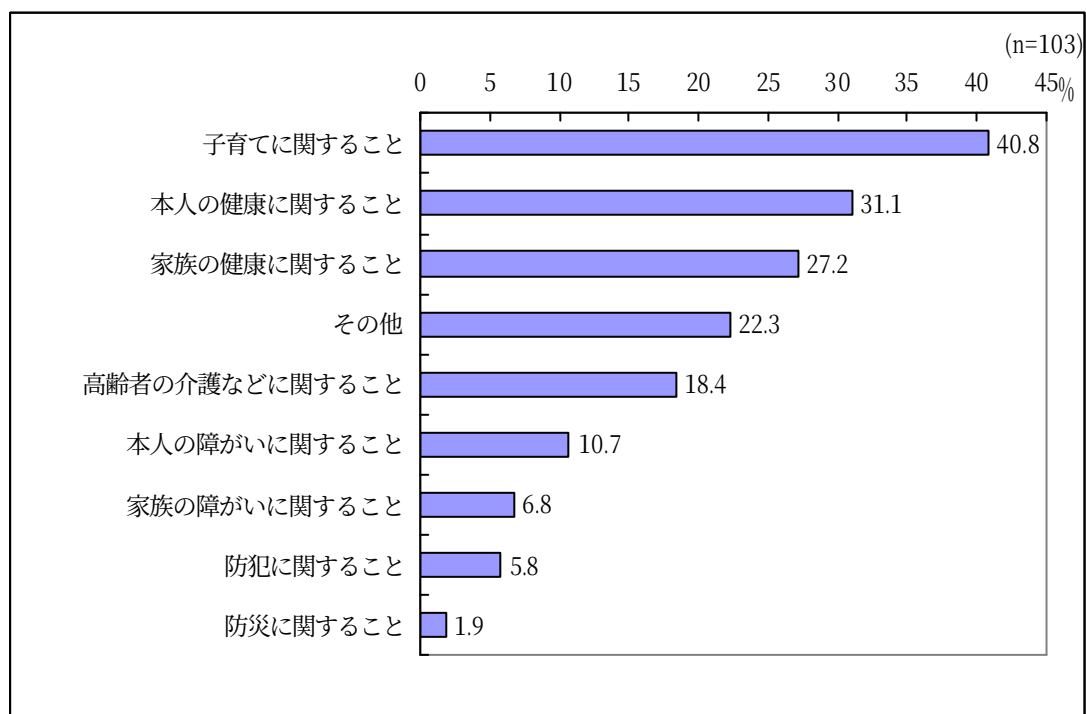
⑥困りごとなどがあった時の家族以外の相談先について（複数回答可）



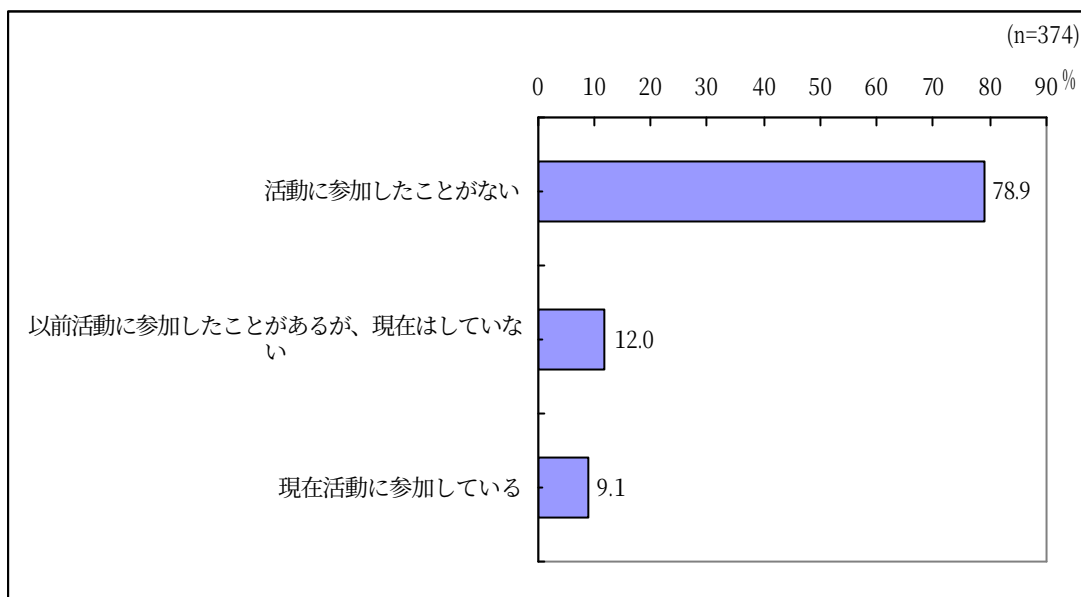
⑦相談をした内容について（複数回答可）



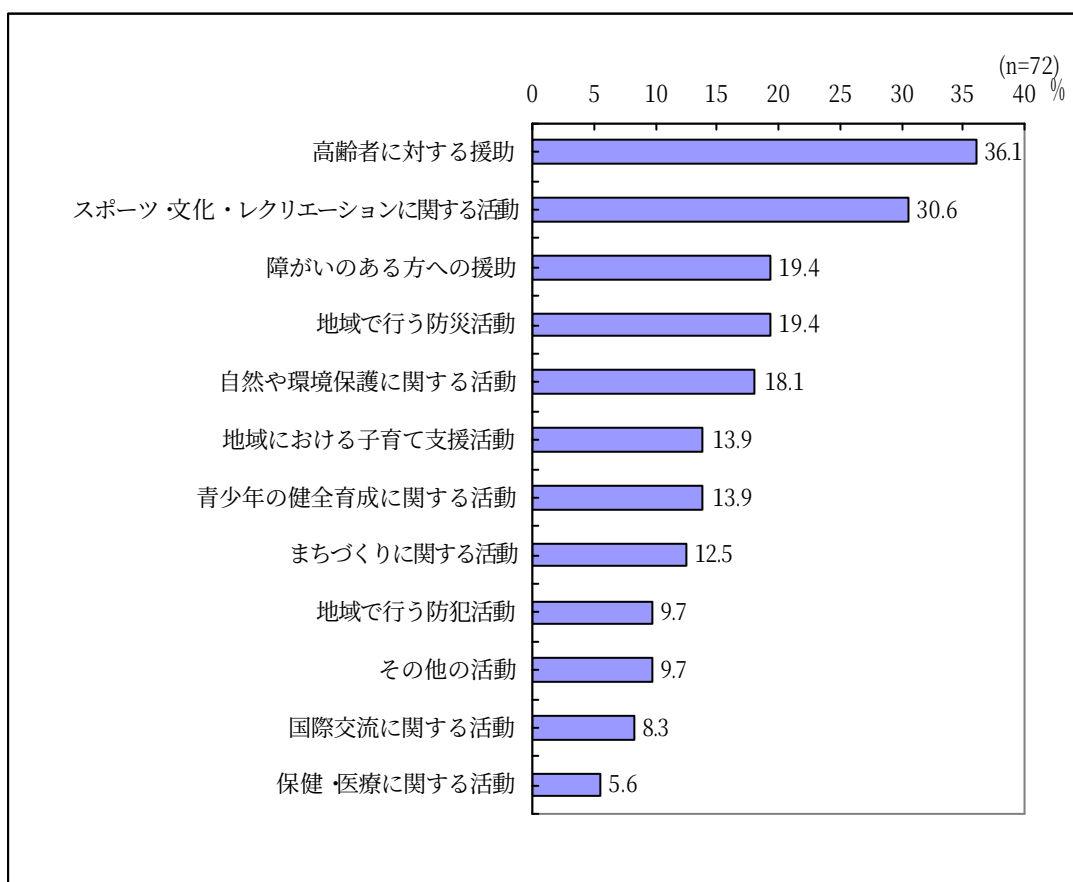
⑧困りごとなどについて相談を受けたことについて



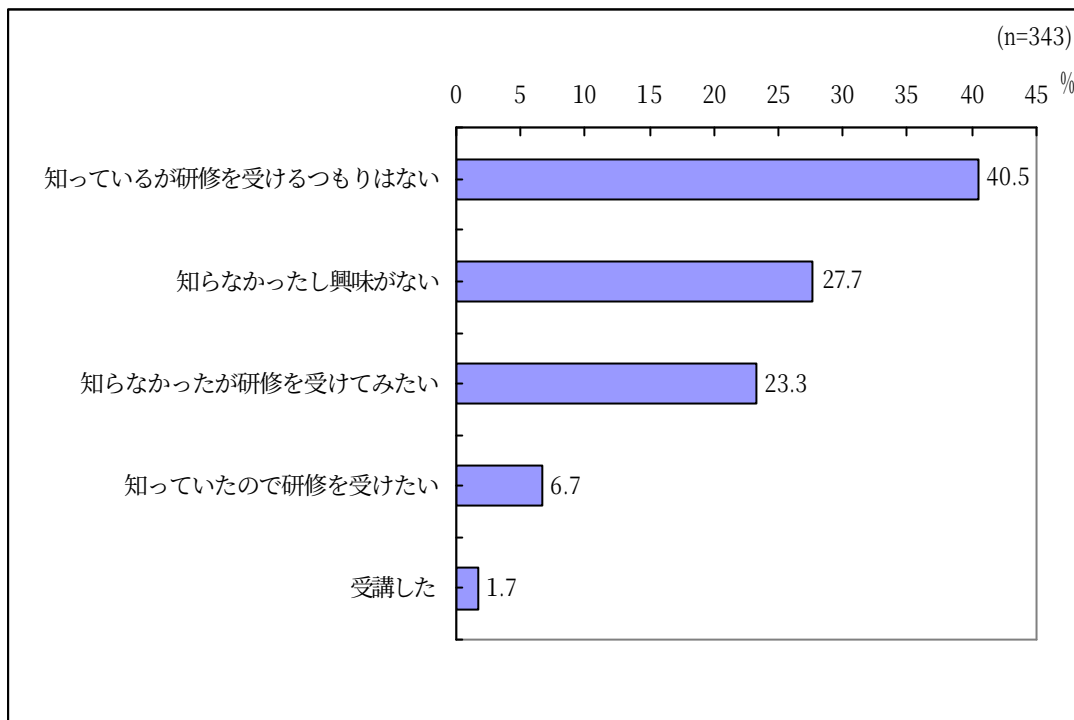
⑨ボランティア活動への参加状況について



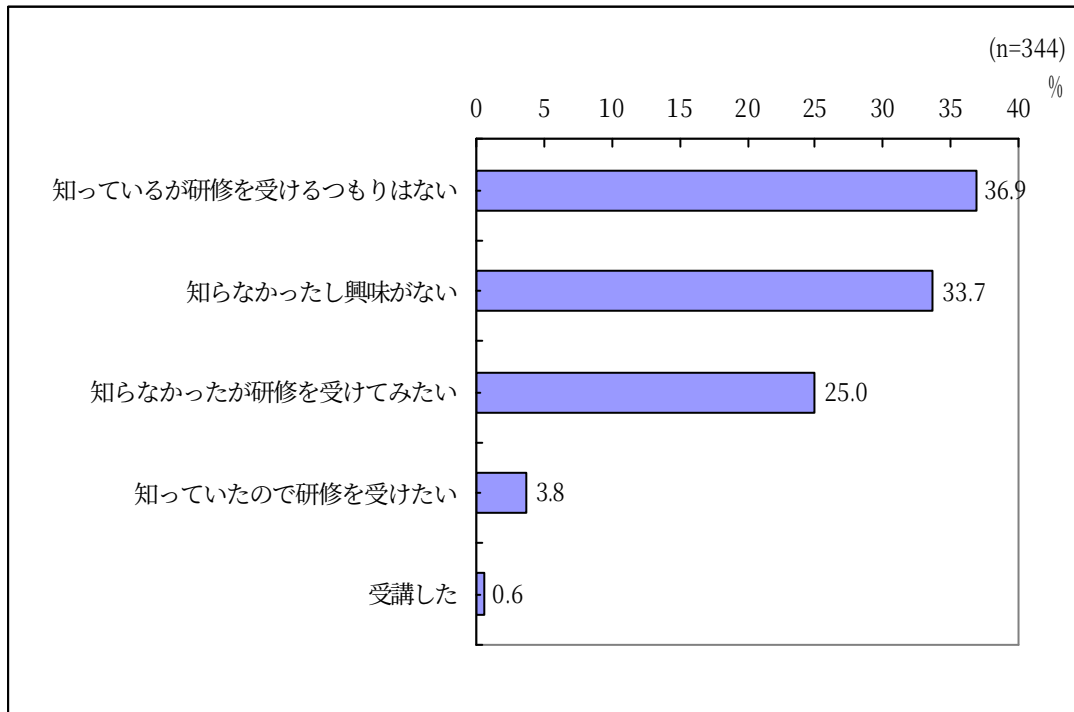
⑩参加しているボランティア活動について（複数回答可）



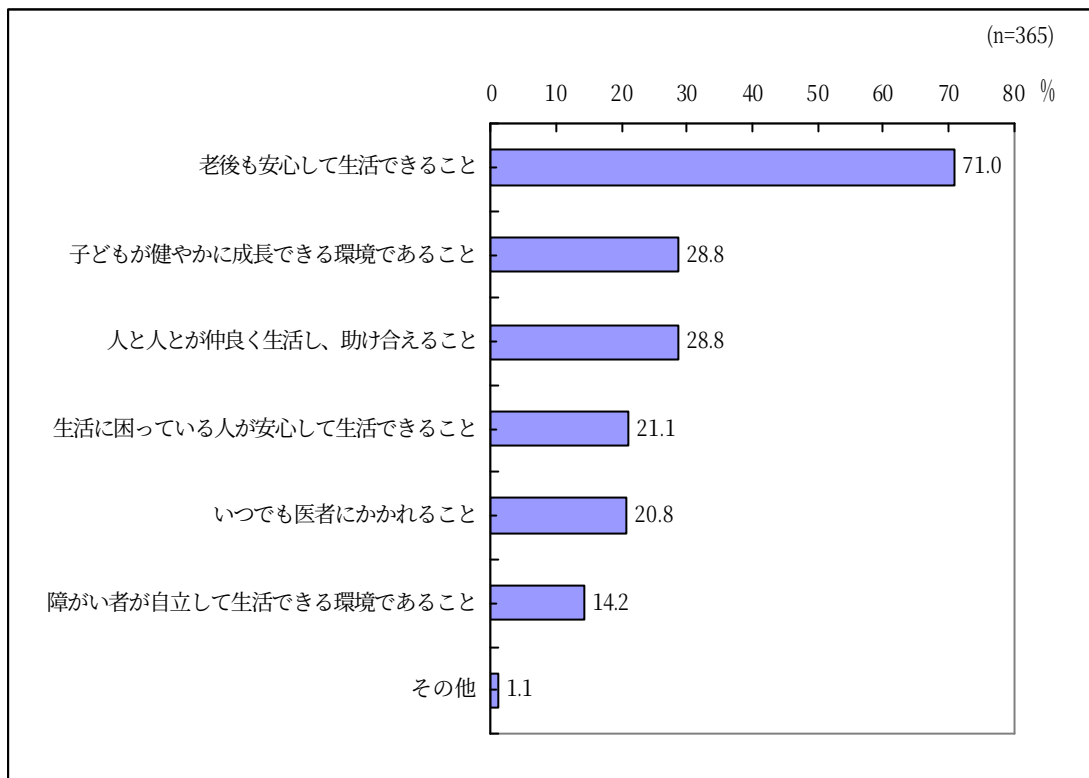
⑪ホームヘルパーの養成研修の受講意向について



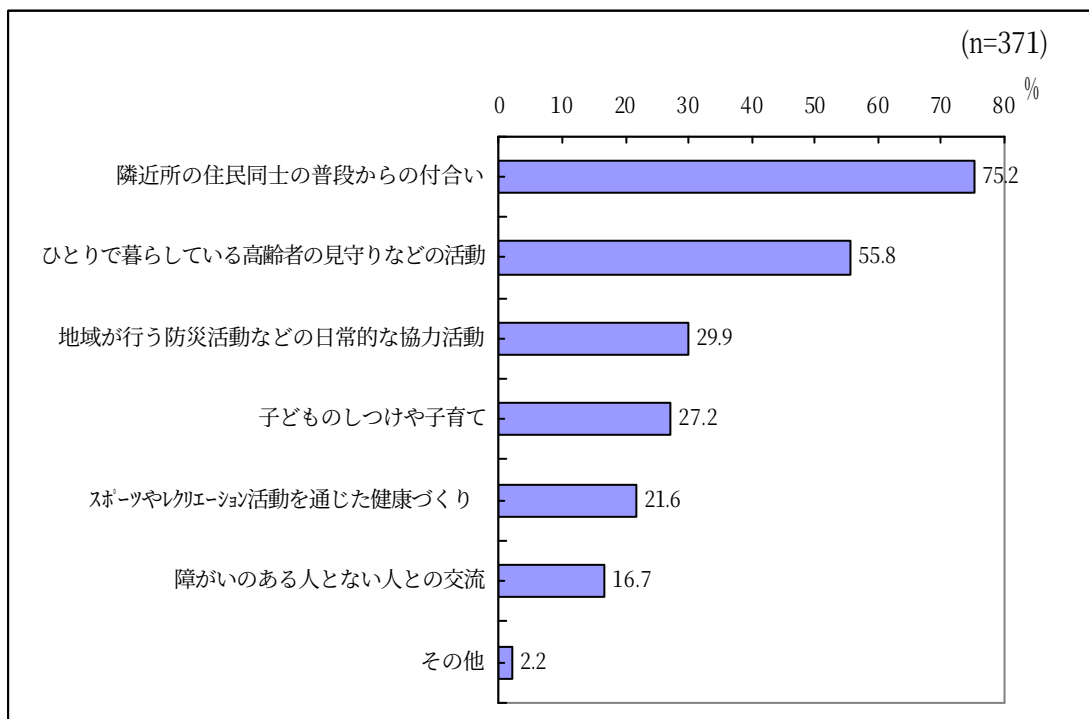
⑫手話通訳者の養成研修の受講意向について



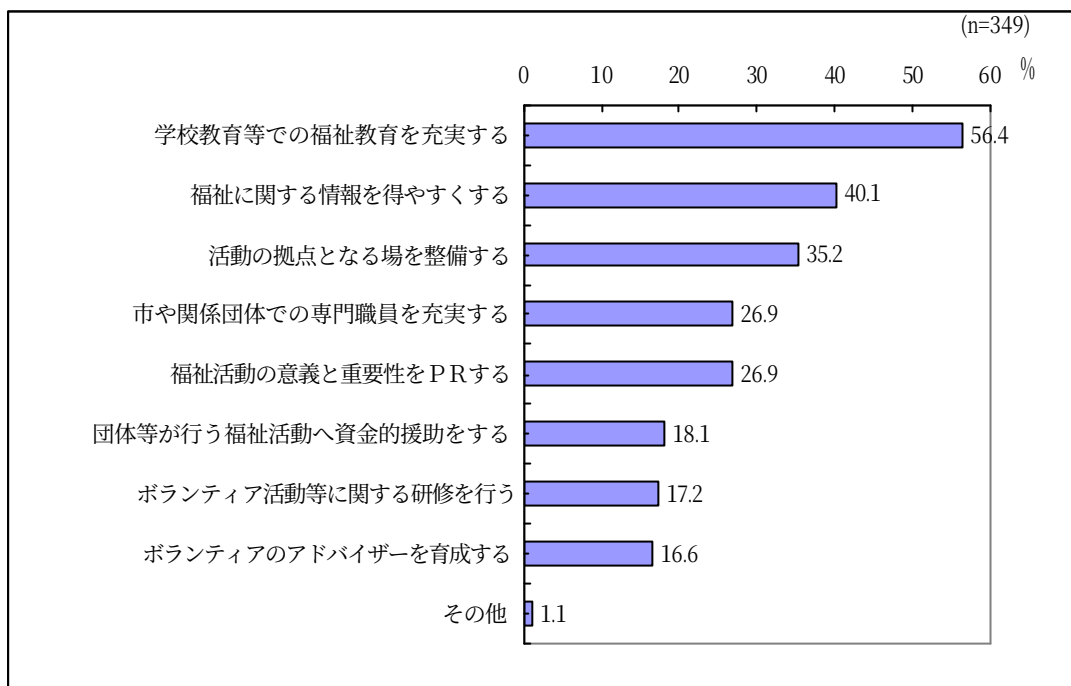
⑬地域福祉に望むことについて（２つまで回答可）



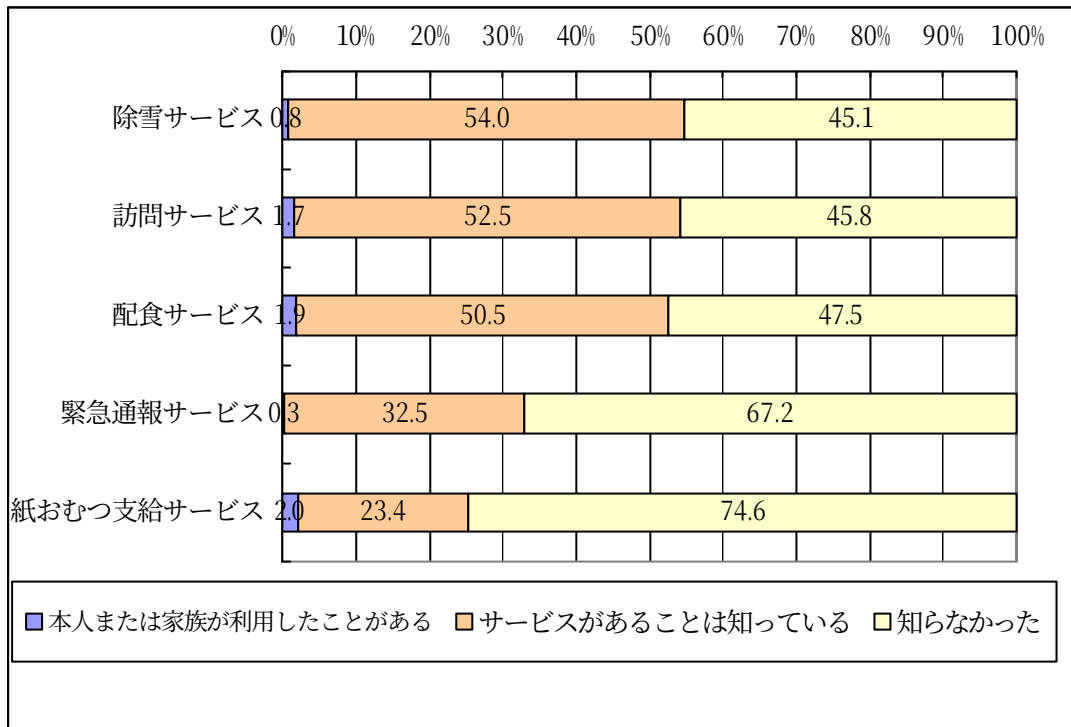
⑭地域で支え合っていくうえで必要なことについて（３つまで回答可）



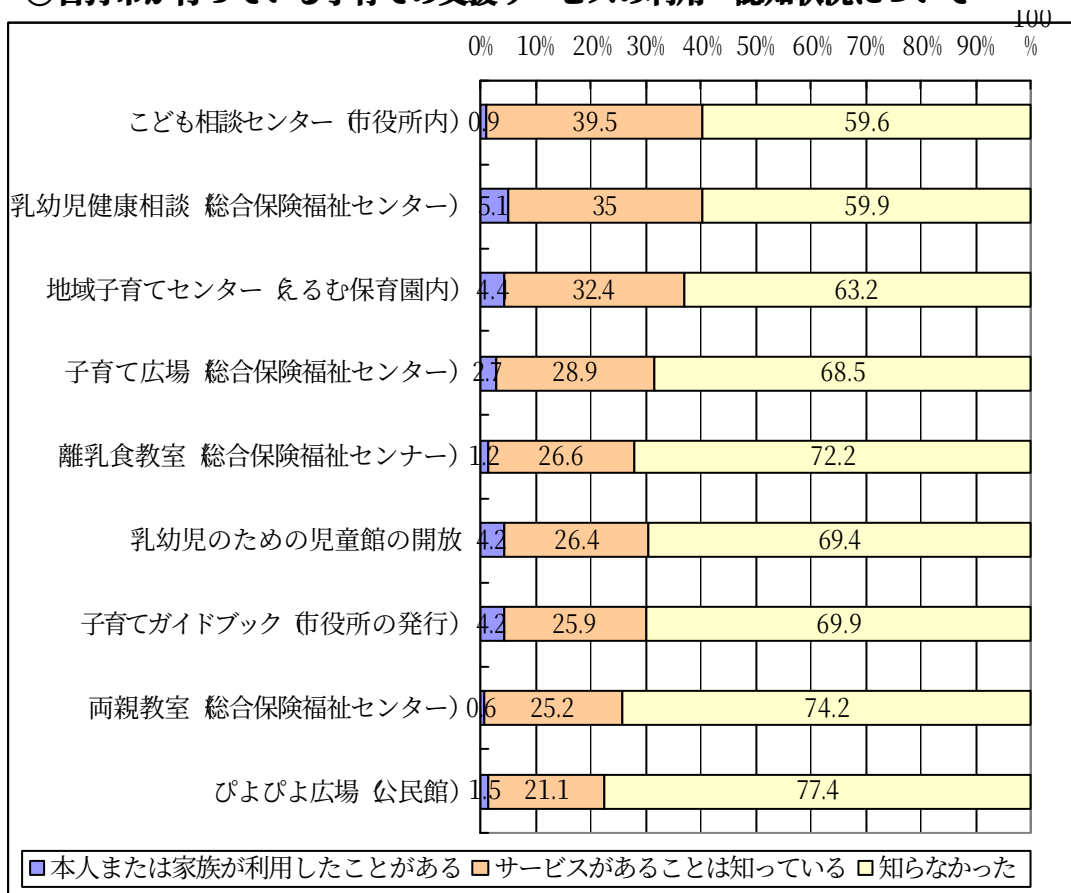
⑮地域における助け合いを活発にするために重要なことについて（3つまで回答可）



⑩石狩市が行っている高齢者福祉サービスの利用・認知状況について



⑪石狩市が行っている子育ての支援サービスの利用・認知状況について



⑱石狩市が行っている障がい者福祉サービスの認知状況について

